学校番号	311

令和５年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	書道Ⅲ　（教育出版）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・文字を素材とした表現活動を中心とし、さまざまな題材について表現のねらいをもちながら自己表現を展開していきます。

・「漢字仮名交じりの書」の学習では、身近にある題材や自らの思いや感動を表す語句を選び、芸術的な表現を工夫するとともに、実用的な表現形式にもその技法や知識を生かしていきます。

・「漢字の書」の学習では、個性的な書風の幅広い古典にふれることによって表現と鑑賞の能力を高め、それらを創作に生かしていきます。

・「仮名の書」の学習では、幅広い書風の古典にふれることによって表現と鑑賞の能力を高め、それらを創作に生かしていきます。

2 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統と文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a. 書への関心・意欲・態度	b. 書表現の構想と工夫	c. 創造的な書表現の技能	d. 鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・観察 ・ワークシート	・作品 ・ワークシート	・作品 ・ワークシート	・観察 ・ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">月</th><th rowspan="2">単元･題材名</th><th rowspan="2">学習内容･活動</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td>4</td><td>古典に学ぶ①</td><td>・漢字の五つの書体・様々な書風への理解を深める。
・臨書学習により特徴を理解し、用筆法・運筆法などの表現技法を学ぶ。</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">a： 漢字の五つの書体に関心を持ち、様々な古典の書風の特徴を理解しようとしている。それぞれの書体・書風の用筆や運筆などの特徴に関心を持っている。古典の書美と表現技法に関心を持ち、意欲的に臨書や鑑賞に取り組んでいる。
b： 各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。
c： 各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。
d： 様々な書体・書風の違いを理解している。それぞれの用筆や運筆の特徴を理解している。古典の書美をその表現技法を理解している。</td><td>・観察
・作品
・ワークシート</td></tr>
<tr><td>5</td><td>古典に学ぶ②
半切臨書作品</td><td>・自らの興味・関心に基づき、学習する古典を選択する。
・選択した古典の書風や用筆法・運筆法などの特徴を把握する。
・多角的に古典を分析し、その書風の特徴を生かした創造的な表現を工夫する。
・選択した古典の時代性や精神性について理解を深める。</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>・観察
・作品
・ワークシート</td></tr>
<tr><td>6</td><td>漢字の書の創作</td><td>・自ら語句を選び、各書体・書風の特徴を生かした表現を工夫し、皿作品を制作する。全体の構成などを工夫する。</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>a： 漢字の書の創作に意欲的に取り組み、表現の構想から完成に至るまでの充実感や達成感を味わおうとしている。
b： 古典に基づく表現を工夫している。感興や意図に応じた表現や、全体の構成を工夫している。
c： 古典に基づく表現を工夫し、個性的に表現することができる。感興や意図に応じた表現や、全体の構成を工夫することができる。
d： 古典に基づく表現と個性的な表現について理解している。</td><td>・観察
・作品
・ワークシート</td></tr>
<tr><td>7
8</td><td>作品鑑賞</td><td>・作品の相互鑑賞</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td>a： 書作品に関心を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている。
d： 書作品を鑑賞し、作品の持つ書のよさや美しさを創造的に味わっている。</td><td>・ワークシート</td></tr>
</table>

9	コンクール	・漢字・仮名・漢字仮名交じりの書・篆刻などから各自が選択し、コンクール作品に取り組む。	○	○	○	○	a：コンクール作品制作に意欲的に取り組んでいる。 b：各書体・書風の用筆や運筆、字形や構成などの表現を工夫している。 c：各書体・書風の用筆や運筆、字形や構成などを工夫して表現することができる。 d：各書体・書風の用筆や運筆、字形や構成などを理解している。	・観察 ・作品 ・ワークシート
10	大字作品	・大きな紙に、大きな筆を用いて、一字書に取り組む。線質や字形、紙面構成を工夫する。	○	○	○	○	a：大字での一字書に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b：線質や字形、紙面構成を工夫している。 c：線質や字形、紙面構成を工夫して表現することができる。 d：線質や字形、紙面構成を理解している。	・観察 ・作品 ・ワークシート
11	作品鑑賞	・作品の相互鑑賞	○			○	a：書作品に関心を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている。 d：書作品を鑑賞し、作品の持つ書のよさや美しさを創造的に味わっている。	・ワークシート
11 12 1	卒業作品展	・3年間で学んだ集大成としての作品を制作する。 ・臨書・創作、漢字・仮名・漢字仮名交じり・篆刻などから各自の感興や意図に応じた作品を制作する。 ・相互鑑賞・意見交換をする。 ・軸などにきれいに表装して展示し、鑑賞する。	○	○	○	○	a：卒業作品展の制作に意欲的に取り組んでいる。自己の意図に基づき、様々な表現を試みることに意欲的に取り組んでいる。用具・用材の特性を生かして様々な表現を試みることに意欲的に取り組んでいる。 b：感興や意図に応じた用筆や運筆、字形や構成などの表現を工夫している。用具・用材の特性を理解し、様々な表現を工夫している。 c：感興や意図に応じた用筆や運筆、字形や構成などを工夫して表現することができる。用具・用材の特性を理解し、様々な表現を工夫することができる。 d：用筆や運筆、字形や構成などを理解している。用具・用材の用い方などにより、さまざまな表現が可能であることを理解している。作品を互いに鑑賞し合い意見交換することができる。	・観察 ・作品 ・ワークシート

※　表中の観点について　a…書への関心・意欲・態度　　b…書表現の構想と工夫
　　c…創造的な書表現の技能　　d…鑑賞の能力

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。